

脳神経外科に通院中の患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】

2010年1月～2019年6月の間にテント部硬膜動静脈瘻（Tentorial dural arteriovenous fistula）に対してカテーテル治療を受けられた方

【研究課題名】

Tentorial dural arteriovenous fistula の部位による血管構築と塞栓術の治療成績の検討：多施設共同研究

【研究責任者】

国立循環器病研究センター 脳神経外科 医長 佐藤徹

【研究の目的】

本研究の目的はテント部の硬膜動静脈瘻の部位による血管構築と血管内治療の治療成績を明らかにすることです

【利用する診療情報】

本院におきまして、治療前後、治療時に撮像された画像データ（頭部MRI、脳血管造影検査）を解析させていただきます。治療前後の経過を把握するために、患者さんの電子カルテの診療記録（カルテ番号、診断名、年齢、性別、手術記録）を調べさせていただきます。

【外部機関への研究データの提供】

上記のカルテ情報および画像データを次の研究機関に提供して、共同で研究を進めます。

久留米大学放射線科講師 田上 秀一

久留米大学脳神経外科教授 廣畑 優

【研究期間】

研究許可日より 2022 年 4 月 30 日まで

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や
学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 脳神経外科 佐藤 徹
電話 06-6170-1070(代表)